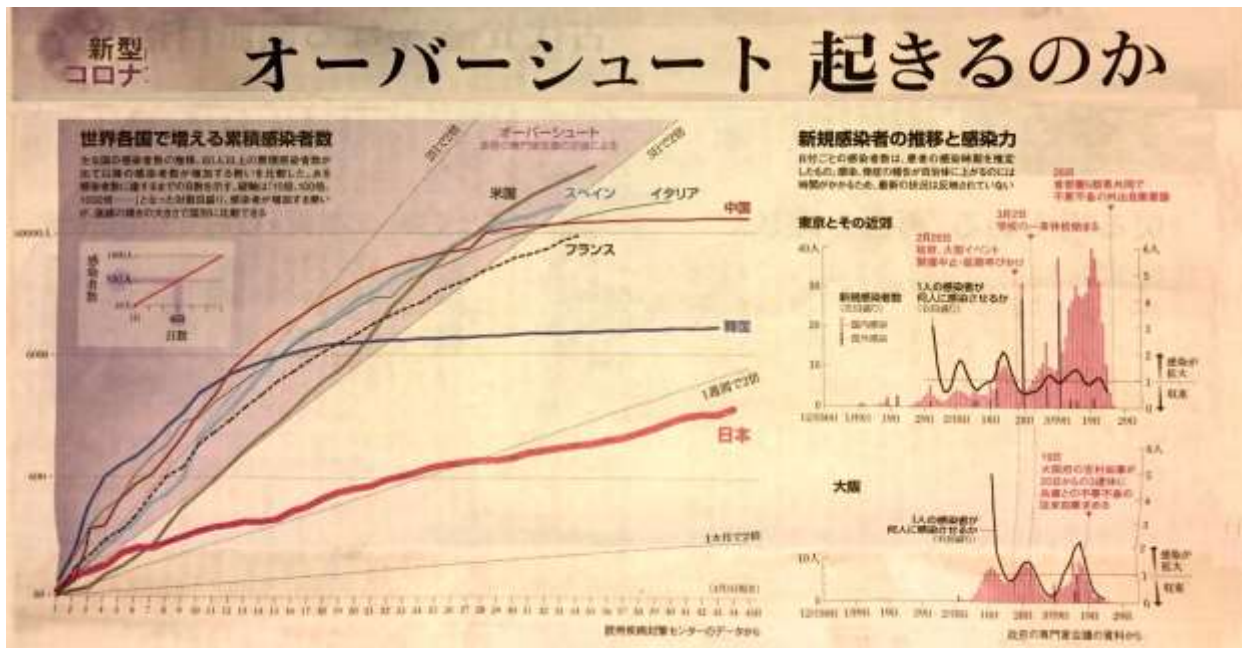


「みんながみんな接触数 8 割削減でコロナ終息へ」 中西の理解私見

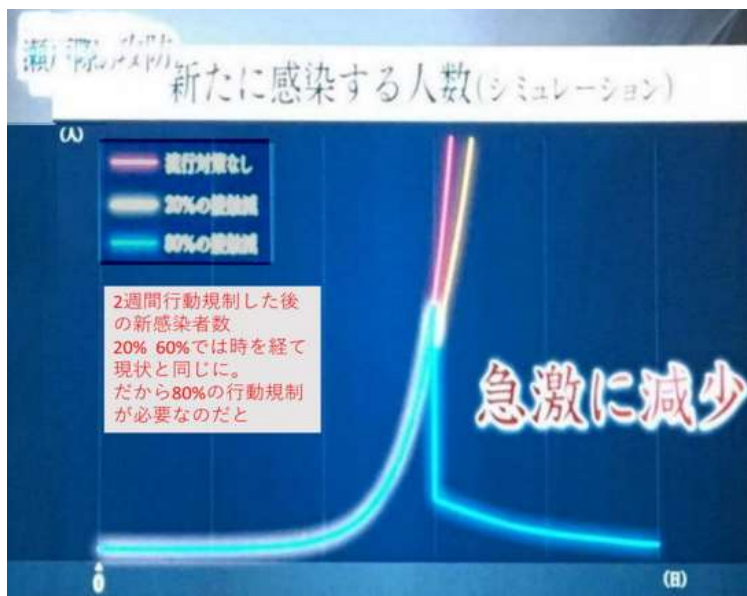
2020.4.11. Mutsu Nakanishi



政府コロナ対策班専門家チームのコロナ収束への唯一のアプローチ提案

ウイルス感染の公衆衛生やシミュレーションなどの一級の実践専門家たちが一つのチームを作り、それぞれの専門性を生かしつつ収束できる道を探ったプロジェクトの今できる唯一の道の提案

「みんなみんな 2 週間の接触数 8 割削減の行動規制でコロナ終息へ」



コ

コロナにたいして 何もできずなすすべなし。みんな色々貢献してるのに何かできないやろか・・・と
「週明けから みんな接触数 8 割削減の行動削減が強く要望されている。

TV ニュース画面で急に大きくクローズアップ 声高で叫ばれる「接触行動 8 割削減の自制行動」

当初 「そんなこと今言われても 誰も行動起こさない 出来っこない」

「また政府や行政 そして中央官僚が聞きかじりの自分勝手なあおり」と。

私も懐疑的な中で 昨日夜 NHKTV スペシャル「新型コロナウイルス瀬戸際の攻防」を見て一遍に替わった。
これは大変やと・・・

何が専門かも自認せぬわけのわからん専門家? 集団が出した結論ではないぞと

ウイルス感染の公衆衛生やシュミレーションほかの一級の実戦専門家たちが一つのチームを作り、それぞれの専門性を生かしつつ 収束できる道を探ったプロジェクトの今できる唯一の道の提案だ。

「ここに入ってくる具体的な日本の感染者個々の最新 Data を集積、日本のコロナ感染ビッグデータを解析・シュミレーションした科学的根拠に基づく確かな結論。 先を見通せる唯一の指針情報だと。

私にはシュミレーションの中身そのものの正確さ(精度)は理解できないが、コロナ撲滅への想い そしてきっちり謎解きされる科学的アプローチと解析結果の積み重ね。

過去の対策を今論議 振り返っても仕方がない。過去は具体的な感染者と濃厚接触者のデータに丹念に組み込んだと。医療崩壊 感染爆発が起こる前の今やらんとあかんのや。今でないといけないのだとの思いがひしひしと伝わってくる。

ワクチンも治療法も確立されず、感染者急増が続く毎日。

我が身に迫る 命の危機の不安感から逃れ、コロナ収束にはこれをやるしかないんだと。

やっと接触数 8 割削減と自制期間 2 週間の専門家集団の真意が理解できた。

もっとも私なりの理解ですが……

勝手な私の私見 お役に立てば。すでにご承知の向きにはごめんなさい。

政府・行政そして一般我々も 「なんでやねん 接触数 8 割削減と言ったって電車も動いているし、できっこない話や」と諦め気味だった昨日まで。でも やっとその真意が見えてきた。やらねば収束はできないのだと。

成功・不成功は別にして、 収束へ 確実に一步前へ進める道だ。

本当に命の危機 いまこの接触数 8 割削減を達成しないと感染急増が再スタート。

感染爆発・医療崩壊への道の再開

今 短絡的な経済論が幅を利かしているが、まず、この医療崩壊・感染爆発の道を食い止めないとストップのかからぬ医療崩壊・感染爆発への道 経済・社会の破壊へ一直線だ。まず 先が見えれば 解決策は色々取れる。

◎ 専門家たちは言う 約 2 週間我慢するだけで先に光が差し込み

経済・社会崩壊のふちから戻れるのだと。この声に耳を傾けない法はない。

専門家たちが示したデータは確実に今手を打たないと 何か月もいつ終わるかわからぬ都市封鎖間違いなく経済・社会の崩壊を招くと data が示している。

なぜ これらの Data が広く説明されないのだと… 偽らざる私の感想。

この私の感想・理解を知らせるのも 今回の「接触数 8 割減要請」成功の一助にもと。

とにかく 誰一人もれずに接触数 7 割~8 割削減しないと都市崩壊を招く。

◎ プロジェクトの解析・シュミレーションから専門家チームが見つけた科学的根拠は次の通り。

一番 衝撃的な理由は 3 密空間での感染

日本では 一般の都市生活空間にいる感染者の 8 割はほかの人に感染せず完治。

残りの 2 割の感染者が約 1.8 人に感染させていることがわかってきた。

この 2 割の感染者がクラスター集団を作って感染を広げているので、これを隔離すれば新たな感染は止まる。

でも 3 密空間では 一人の感染者かが感染させる数は 18 人だとデータが示しているという。

倍々ゲームのすごい数字だ。 初めて知る 3 密空間の感染力。

ところが、今このクラスターと呼ばれる 3 密空間の感染が感染急増の中に隠れて、見つけ出せなくなっている。

これがすべて……。

2 週間 誰もが感染しない空間(非接触空間)に身をひそめる自制を行えば、

理論上この期間内に感染発症がみな生じる。感染している人をすべて隔離し、街には一人も感染者がいなくなる。

また、同時に感染者隔離と濃厚接触者を辿る管理をすれば、多数者の感染者を作るクラスター集団が発生する三密空間がうきぼりになる。 この未知の三密空間の徹底叩き潰しが今回の意図だとわかってきた。

この二週間の自制後のスタート時点では 街には感染者はおらず、海外からの感染者の入国を止めれば、理論上日本に感染者はいなくなる。ところが、この自制が緩んでいると、未知の三密空間・クラスターが街に残り、そこから感染がまた急激に進む。

接触数 8 割削減が完全な 10 割削減(外国がやっている都市封鎖がこれにあたる)とどれほどの差が出たのか、シミュレーションの詳細な差をわれわれが知ることはできない。でも この丹念な解析構成は理解できる。

プロジェクトのメンバーたちはシミュレーションの結果から、接触数 8 割削減を行うことで、未知の三密空間とクラスター集団をあぶりだし、感染者を管理して、クラスター集団撲滅を図れると自信を持っている。

一人ぐらゐと隠れて自制行動を行わず、この接触数 8 割削減が崩れると 再開後 街にはそれだけ未知の三密空間とそこに集まった人たちの感染者が生き続けることになり、解除後爆発的感染を引き起こす。

患者数が倍々ゲームで感染者が膨らむ。

この未知の三密空間の徹底叩き潰しに必要なのが「接触数 8 割削減と 2 週間の一斉自制期間」である

この「接触数 8 割削減 2 週間の一斉自制」の提案が 成功することに協力したいと。

そして 街からまず 3 密クラスター集団が消えて 収束の道が開けるよう期待しています。

- ◎ 専門家たちはこのシミュレーションからこれからの感染方向をはっきり見据えている。接触数の 8 割削減してみんなが 2 週間過ごせば、クラスター集団全部が表に出て完全に管理できる。これで感染全体を制御できる方向へ転じることが出来る。これに失敗すれば……・どつぽと。示されたデータ詳細は分からぬが よくコントロールされた専門家の論議である。
- ◎ ニュースは命の危機を忘れた損得を考えた経済論ばかり それも方向が見えぬ相変わらずの理念なき損得論でも今 専門家が示した接触数 8 割削減行動 2 週間 すごい説得力あり。経済論はそれからでも???? やらなくても 1 か月以内に都市封鎖に。それももっと先が見えぬ中で。

専門家チームもプロジェクトの途中 感染者急増に、皆制御の道を諦め、疲れ切って一時は何もできなくなり、思考もストップ。諦めの中にいたという。でも、あきらめず一つの望みとして見つけた突破口がこの接触数 8 割削減の行動自制の達成だと聞く。

一方 今急速に TV 等では 治療薬と休業補償の話ばかり…。もう 封じ込め諦めたというのか… 確かに治療薬開発が間に合えば それが一番であることはたれも知っている。

でも 直ぐ間に合う治療薬がいきわたる道はない。医療従事者の献身的奮闘が続いている。

また 医療従事者の感染も広がっている。

今 希望的幻想の中に諦めて浸っていても収束の道は見えぬ。

私は諦めず 2 週間我慢すれば、道が開けるといふ専門家にみんなで かけたい。

ほっとけばこの経済もさらに深刻が倍加する。

暢気に構えている間はない。これで本当に先が見えるなら 2 週間の行動自制。

先が見えるなら政治家集団よりそちらにかけたい。

また、政府はなぜ休業補償をためらうのか… それこそが政府・政治の一番の仕事だろう。

株の下落の支えや東京改造にかけた金額を考えれば…。

世界はすでにどこも数兆円規模の休業補償 広範な所帯給付に舵を切っている。

政治家の墮落がまた日本の高度成長情報社会の負の遺産指導力のなさが今噴き出しているとするのは私 年寄りボケのあほな議論なのでしょうか……

NHK を見ていて得たデータ等を下記添付させていただきました。

専門家のシュミレーション

「接触7〜8割削減」効果は「感染抑制できる」

日本では感染者の8割はほかの人に感染せず完治。残りの2割の感染者が約1.8人に感染させていることがわかってきた。この2割の感染者がクラスター集団を作っている感染を広げているので、これを隔離すれば新たな感染は止まる。

日本ではクラスターをすべてを早期に見つけ出し、隔離する態様が取られ、第一波の感染急増が防止されてきた。

ところが、現在の状況はクラスターの急増で、隔離できていぬクラスターが巷で活動していて、感染爆発の危機、みんながみんな命の危機に直面している。

一方、専門家集団は、第一波の感染者解析から一般環境では感染者の8割はうつさず、残りの2割がほぼ2人に感染させていることや三密空間では18人に感染させるというびっくりする数字であることを見つけた。

ここから諦めかけていた医療現場・感染爆発から逃れる唯一の突破口を見出した。

感染者が急増している現状では、見えない感染者・クラスターが多数存在し、すべてのクラスターを全部もれなく見つけ出せない。隠れたクラスターが感染を広げ、急激な感染者急増を招いている。一波の対策が全くきかなくなっている。

99%の感染者の6割が行動規制しても、1%の感染者が行動を変えないと感染者数は1.2倍に。さらに感染者は日とともに急増してゆく。でも8割が行動規制すれば・・・「少しぐらい、ひとりぐらし」の勝手な行動が許されぬ事態になっている。

この重大な危機を日本では、なかなか共有されていない。専門家集団がこの危機を訴え始めた。

未感染者も感染者も含め、住民全員が行動規制して、接触を8割減して新たな感染を防止すれば、今は隠れているクラスターも含め、この2週間で、発病しているほぼすべてのクラスターを見つけ出すことができる。

ワクチンも治療薬もなく、治療法が確立しておらず、感染者の自己回復力をたかめる治療しかできぬ現状の突破口の見解

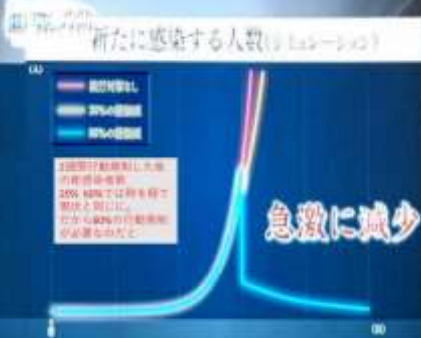
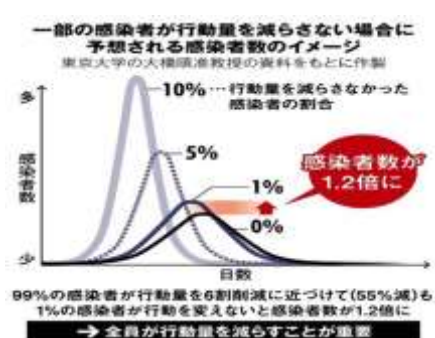
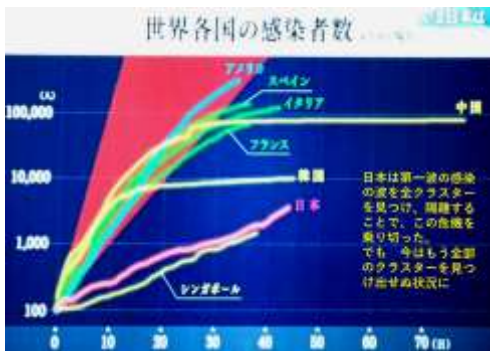
この2週間で、落ちこぼれなくすべてのクラスター群を管理できる状態を作る。これで医療崩壊・感染爆発も防止し、コロナ克服の展望が開ける。これが専門家集団が見つけた今取れる唯一の方法だ。

8割なんて日本では幻想、それこそ都市封鎖でもしないと経済も社会もつぶれると。でも専門家集団はたった2週間克服するだけで、あとは回復の道がたどれると。「経済・社会がつぶれる」というが、今の状態だって、真綿で首を絞めているようなもの。それも回復不可能になる状況をただ待っているだけだと。2週間みんな何としてもがんばろう!!と。

出来る8出来ないの議論ではない。落ちこぼれない8割削減をやらねばならぬ。これで落ちこぼれなく、クラスターをすべて見つけ出す。これが、専門家集団の出した結論です。

考えてみると5月は10連休、正月だって5連休ではないか2週間の活動規制が我慢できないか???

対応が遅れば遅れる程、経済・社会の回復力は養えるだけ。そしてその結果は同じ効果をもくろむ各国がやってきた都市封鎖。そして、経済も社会もずたずたに。いまだたら、元の元気な姿に戻れると。



見えないクラスター感染はほっておけば倍々ゲーム。麻雀をやる人は周知のとおり。このクラスターを全部 表に出し管理するのに今でなければ・・・そして接触行動を8割削減して2週間我慢する必要がある。ここから立て直しに走ったって十分ではないか・・・でも、脱落者が出ればそれこそ砂上の楼閣。今は専門家たちの健闘にかけたい。

長くなりましたが、コロナ抑え込みの理解にちょっとでも役に立てれば・・・と。私の勝手な思い、こんな意見もあると、皆様の理解・ご判断の役に立てばと。2週間後、先に光が差し込みますよう長々とごめんなさい。なにはさておいてもみんな、三密を頭において接触行動の自粛で「うつらず、うつさず」でこの2週間をご批判もあると思いますが、私見披露で少しでもお役に立てば・・・ピンボケならば年寄りのたわごとと切り捨ててください。今日は、くしくもイースター、復活日人も街も復活の光が差し込みますように

God be with You!!

2020.4.11. Mutsu Nakanishi 4.11 仲間に送った PDF file を整理加筆しました